

# FUJISAN WORLD HERITAGE SEMINAR

## 富士山 世界遺産 セミナー

第4回

山の日記念公開シンポジウム | 生活が育んだ山の風景：1万年の物語

### program プログラム

#### ●開会の辞

須藤秀忠 (富士宮市長)

#### ●話題提起

安田喜憲 (ふじのくに地球環境史ミュージアム館長)

「富士山世界遺産センターの可能性」

#### ●講演

小山真人 (静岡大学教育学部教授)

「火山がつくった世界遺産・富士山」

(13:30-14:10)

内山純蔵 (静岡県世界遺産センター整備課教授)

「山・彼岸への窓口：縄文のストーン  
サークルと御柱祭」 (14:10-14:40)

小山修三 (国立民族学博物館名誉教授)

「山と生きる・森と生きる：  
飛騨とアボリジニ」 (14:55-15:35)

ハドソン・マーク

(静岡県世界遺産センター整備課教授)

「近代化は山から始まったか？  
～世界遺産イドリヤと  
水銀鉱山の歴史～」 (15:35-16:05)

●パネルディスカッション (質疑応答) 16:15-16:45

#### 講演者略歴：

安田喜憲 (やすだ よしのり)

ふじのくに地球環境史ミュージアム館長、立命館大学環太平洋文明研究センター長。専門は環境考古学。主な著書に『環境文明論—新たな世界史像』(論創社)、『森と文明の物語—環境考古学は語る』(筑摩書房)

小山真人 (こやま まさと)

静岡大学教育学部教授・静岡大学防災総合センター副センター長。専門は地質学・火山学・地震・火山防災など。主な著書に『富士山 大自然への道案内』(岩波新書)、『富士山大噴火が迫っている!』(技術評論社)。

小山修三 (こやま しゅうぞう)

国立民族学博物館名誉教授・千里文化財団理事長。専門は考古学・文化人類学。主な著書に『狩人の大地—オーストラリア・アボリジニの世界』(雄山閣)、『縄文学への道』(NHK ブックス)、『森と生きる—対立と共存のかたち』(山川出版社)。

内山純蔵 (うちやま じゅんぞう)

静岡県世界遺産センター整備課教授、総合地球環境学研究所客員教授。専門は環境考古学・景観論(東アジアの景観形成論)。主な著書に『縄文の動物考古学』(昭和堂)、『東アジア内海文化圏の景観史と環境(1-3巻)』(編著、昭和堂)。

ハドソン・マーク (Mark J. Hudson)

静岡県世界遺産センター整備課教授。専門は人類学(日本列島の民族形成論)。主な著書に『Ruins of Identity: Ethnogenesis in the Japanese Islands』(Univ. of Hawaii Press)、『対馬海峡と宗像の古墳文化』(西谷正・安田喜憲編、雄山閣)

全体司会：田代一葉

(静岡県世界遺産センター整備課主任研究員)